

(別添3)

## 【庄内町】 校務DX計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

### 1 校務系・学習系ネットワークの統合

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備（教職員用端末の一台化を含む）に向けた調査を進める。

### 2 校務支援システム

現在、校務支援システムについては、オンプレミスで運用しており、学校現場において保健や学籍、成績など様々な校務で利用している。また、学校現場への聞き取りを行い、必要な機能があれば順次追加している。

文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況を注視しつつ、教職員と学校現場における課題・ニーズ等の情報共有を図るなど、次世代の校務デジタル化に向けた校務系ネットワーク・システム等の現状把握や望ましい校務の在り方に関する検討を行い、パブリッククラウド上での運用を前提とした校務支援システムのクラウド化を検討する。

(現在導入している校務支援システムはオンプレミスを推奨しており、クラウド版は非推奨となっている。)

### 3 クラウドサービスの活用

児童生徒の出欠連絡は電話による連絡が主流だが、一部の学校においてクラウドサービスを用いた連絡体制を取っており、教職員の電話対応の負担軽減や保護者の利便性向上など一定の成果が上がっている。

今後は学校の実情やニーズを踏まえながら、出欠連絡だけでなく、学校から保護者への連絡機能の整備を検討していく。

### 4 教育委員会が実施する研修方法の検討

これまで教育委員会主催の研修は対面による実施が多かった。今後は対面の研修だけでなく、オンライン参加も可能なハイブリッド方式を検討し、実施していく。また、研修資料を紙媒体だけでなく、クラウド上に保管、閲覧できるようにし、ペーパーレス化を図っていく。